

一般財団法人日本車椅子シーティング財団事業・予算計画

平成28年（1月1日から12月31日）

全体方針

本財団は賛助会員の賛助会費が年間の収入となる。現在、各担当が賛助会員の積極的な依頼を行っている。しかし、設立初年度であるので、賛助会員による収入は全く予想がつかない。年間での予算を組んで事業を実施しても、賛助会費の収益が少なければ、事業が途中で頓挫する恐れがある。

そこで、半年の6月末までに第一弾予算200万円、20口を必須とし、そこでできる事業は今年度必須の事業とする。6月までに200万を達成できれば、今年度は第2弾予算400万での事業規模とする。

よって、第一弾予算200万円の収入として、本財団が円滑に運営できるようにしていくことを目標とした100万円を事務局経費とし、また、100万円を事業費とする。事業経費は早期にそして比較的容易に達成できる普及事業での重度者に対するシーティングのシンポジウムの開催経費、財団の活動その結果を賛助会員等に周知するホームページ開発費用とし、経費の小さい科学事業を実施する。

議連（古谷）

- 1) 過去のやり取りを継承しながら、議連との流れ、依頼内容の決定手法、議連会合対応について明確化・文字化する。議連との窓口は議連担当理事が一本化する。
- 2) 診療報酬留意事項については継続案件とする。
- 3) 他についての案件は理事会で審議する。

国際（山崎）

- 1) 国際シーティングシンポジウム(以下 ISS)での財団の説明および開催の打診やその受け皿の説明。
- 2) ISSでの情報収集を行う。
- 3) 来年度開催予定の合同シンポジウムでの海外講演者のリストアップを行う。
- 4) その他、ヨーロッパシーティングシンポジウム等海外情報の紹介を行う。
- 5) ISS開催準備金積立（第二弾）。

国内（川畑）

日本車椅子シーティング協会、日本シーティング・コンサルタント協会、日本義肢協会、日本リハ工学協会、全国福祉用具専門相談員協会などとの合同シンポジウム開催に向けた準備を行う（第一弾）。

普及（木之瀬）

- 1) 急性期および慢性期などの重度者に対する車椅子シーティングの有効性とその必要な車椅子構造に関するシンポジウム（案）の開催を実施する（第一弾）。
- 2) 車椅子に乗車した状態での自動車安全性について、問題点の指摘および ISO に専門員を派遣することを実施（第二弾）。
- 3) 電動車椅子の普及に関する基礎研究または他案の検討を実施。

科学（廣瀬）

- 1) 科学は研究費援助、研究優秀賞選定、海外発表渡航費援助、そして開発費援助を行う。
- 2) 全期を通じて行うことは、これらの選考基準を作成することである。
- 3) この中で海外発表渡航費の援助は比較的経費が少なく、今年度実施していきたい。
海外発表渡航費は一般的に宿泊、航空運賃、学会参加費、発表文章の英訳費用であり、20万円程度かかる。そこで、10万円を援助することを提案する。可能であれば、第一弾予算として、実施していきたい。当然の条件として、海外発表渡航費の援助がない筆頭発表者とする（第一弾）。

広報（古谷）

- 1) ホームページを作成し、財団の活動を周知させる。議連を含め、各理事業務の活動のホームページ掲載を行う（第一弾）。
- 2) シーティングについてのイメージを定着させるようなパンフなどの作成。

事務局（川畑）

- 1) 財団設立費用の計上
- 2) 財団事務局強化費用
 - ① 代表理事専用 PC 等、事務用 PC など事務機器
 - ② 役員等と事務員の謝金及び理事会及び評議員会経費からなる（第一弾）。
- 3) 設立理事会において、代表理事の国際シーティングシンポジウム参加が決定したので、派遣費用が新たに含まれた（第一弾）。
- 4) 設立パーティの開催。

平成28年一般財団法人日本車椅子シーティング財団予算(千円)

	項目	内訳		小計
収入				<u>7,000</u>
	協賛会費	40口×100千円	4,000	
	設立会収入	一人20千円祝金×150組	3,000	
支出				<u>7,000</u>
	議連			0
	国際			<u>200</u>
	ISS開催**	準備金	200	
	国内			<u>40</u>
	合同シンポジウム開催会議*	会議費	40	
	普及			<u>1,000</u>
	重度者シンポ開催*	依頼費(講師謝金、会場費等)	500	
	自動車安全**	ISO会議参加(250千円×2回)	500	
	科学			<u>100</u>
	海外渡航費援助*	1人分	100	
	広報			<u>560</u>
	ホームページ開発・管理*	初期開発費	200	
		管理費(30千円×12月)	360	
	事務局			<u>3,520</u>
	設立費用*	法務局等、謝金	200	
	事務局備品*	代表理事PCや事務局備品	200	
	役員等及び職員人件費	2千円×212時+3千円×192日	1,000	
	ISS参加費*	代表理事(バンクーバ)	200	
	理事会開催	代表理事会議4回	240	
	評議員会開催	会議1回	50	
	設立会支出	会場費、飲食費・謝金等	1,500	
	事務経費		130	
	積立金			<u>1,580</u>

* : 第一弾予算

** : 第二弾予算